

令和5年度 北海道旭川南高等学校 シラバス

教科名	科目名	年次	単位	年間予定時間	担当
情報 I	高校情報 I Python	1	2	70	鈴木 佐々木

年間指導計画

前期中間 時数	前期期末 時数	後期中間 時数	後期期末 時数
14	20	18	18

授業の目標

情報に関する科学的な見方・考え方や問題の発見・解決のためのスキルを身につけ、プログラミングやデータ分析といった要素を生活の中で活用できるようになることを目標とする。

学習方法

教科書の重要語句を中心に学習を進め、実習を通して関連する事柄について学習を深める。
教科書の内容を補完するため各種実習を行う。

教科書・教材

高校情報 I Python 高校情報 I Python 学習ノート

評価の観点・規準・方法

評価の観点	評価規準（到達目標）	割合	評価の方法
ア：知識・技能	情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付ける。	30%	定期考査 実技考査
イ：思考・判断・表現	様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付ける。	40%	定期考査 シミュレーション実習
ウ：主体的に学習に取り組む態度	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付けてる。	30%	授業の取組（毎時） 課題やワークの提出 プレゼンへの取組 プログラミングへの取組

その他・備考

★授業進度により、指導内容の順序や内容が変わる場合があります。授業中は学習に集中し、自ら思慮深く学習に取り組むことができるようにしてください。